

接続料の算定等に関する研究会（第38回）
「5G（SA方式）時代におけるネットワーク提供に係る課題」
ご説明資料

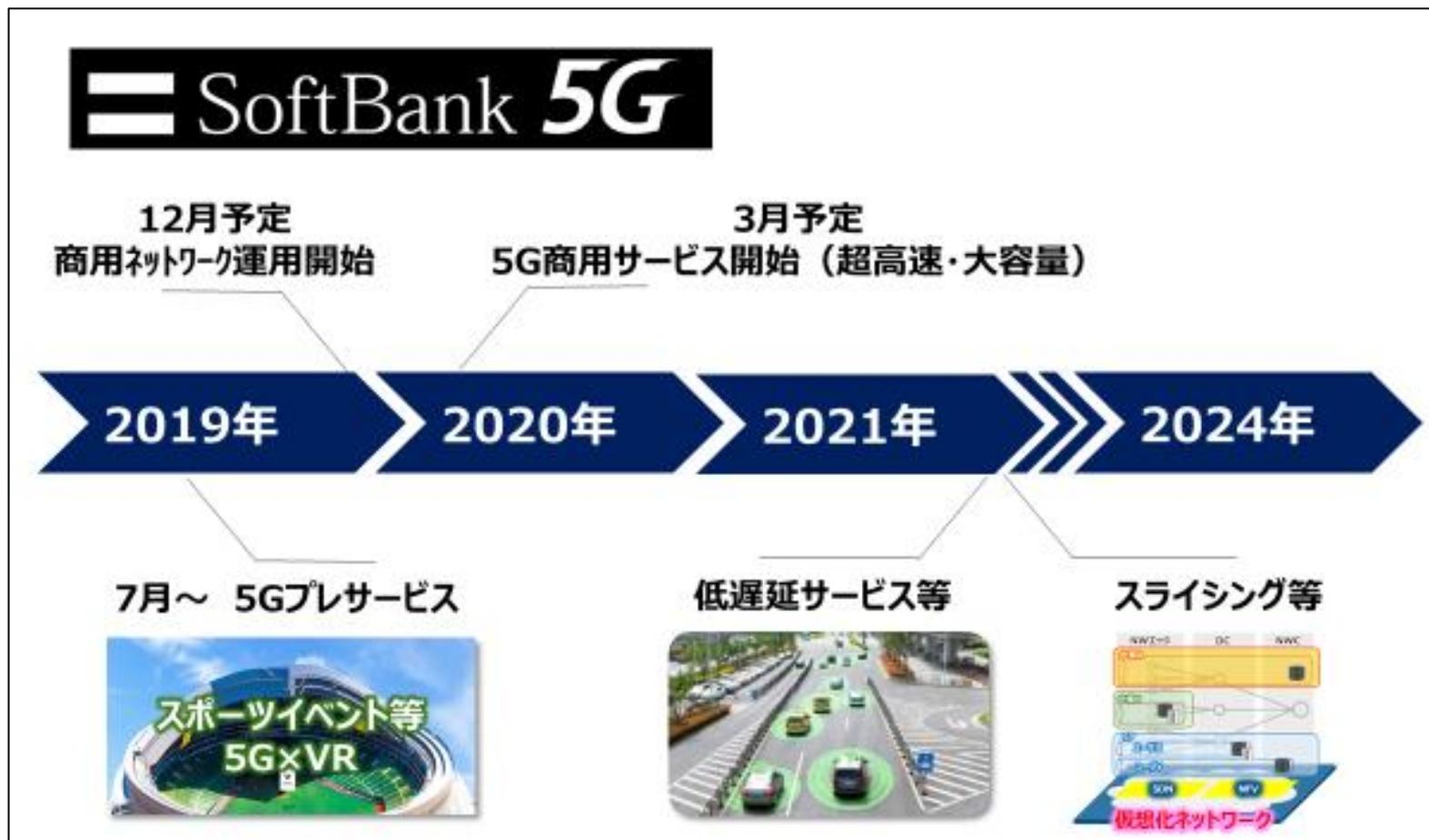
2020年11月24日
ソフトバンク株式会社

- 1. 5G（SA 方式）の状況について**
- 2. MVNO向けの機能開放について**
- 3. 機能開放について、MVNO との協議状況**
- 4. 5G（SA 方式）における公正競争ルールについて**

- 1. 5G (SA 方式)の状況について**
2. MVNO向けの機能開放について
3. 機能開放について、MVNO との協議状況
4. 5G (SA 方式) における公正競争ルールについて

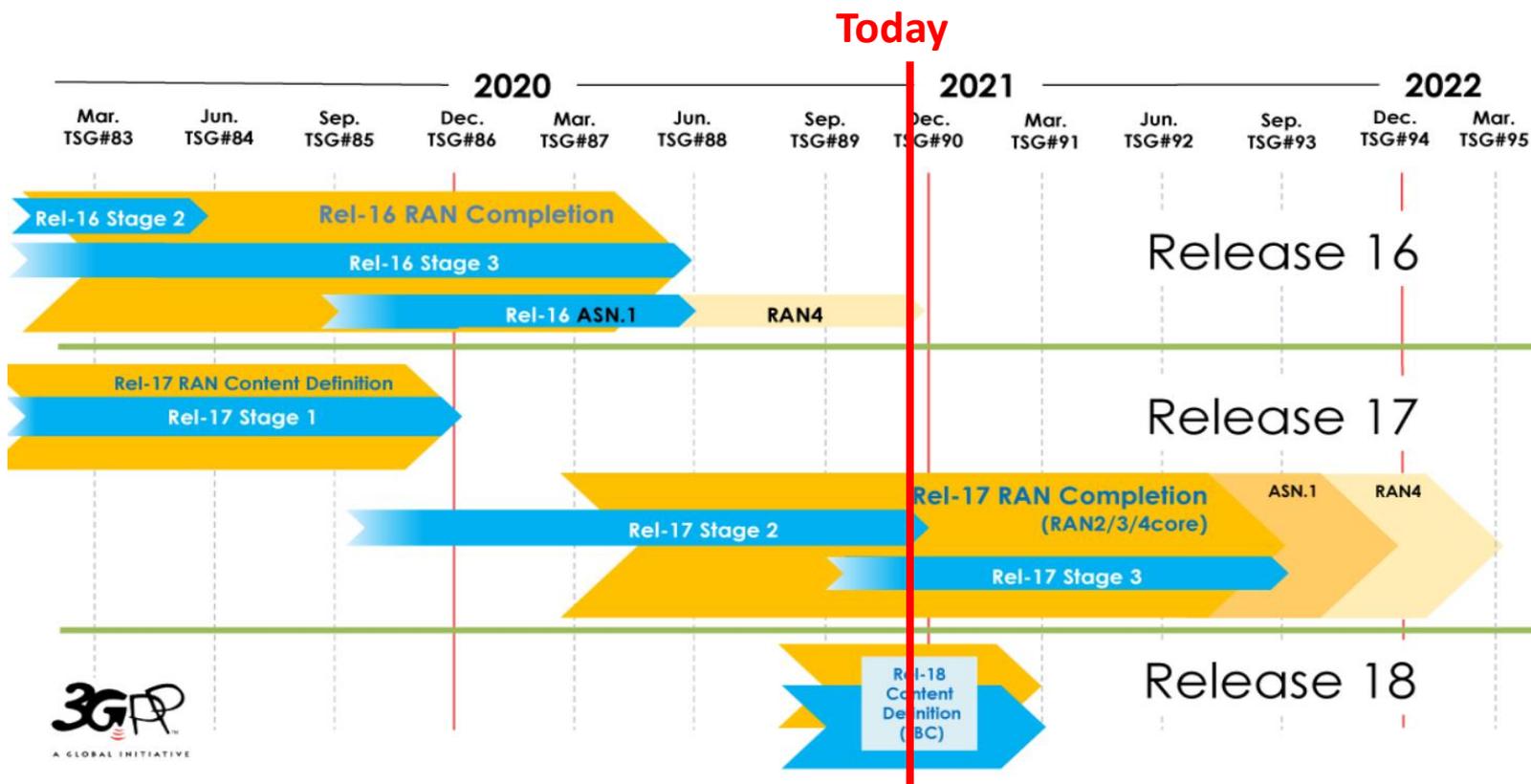
SBの5G(SA)導入スケジュール

SA構成サービスは21年度後半に導入予定
SA導入後、低遅延・スライスサービス等、順次トライアルを開始



国際標準化動向(1/2)

各Releaseで機能の仕様策定中
標準化・ベンダ機能開発から商用サービスへの導入まで
約1年半～2年程度必要



以下3GPPサイトより抜粋

https://www.3gpp.org/images/articleimages/Releases/graphic_version3_SP-200222.jpg

国際標準化動向(2/2)

3GPP Release 15 (5G Phase 1) 【2019年3月標準化完了】

最初の5G無線(NR) & コアネットワーク(5GC)仕様

LTE用コアNWのEPCを用いたNSA(Non Stand Alone)仕様も含む

3GPP Release 16 (5G Phase 2) 【2020年7月標準化完了】

5G無線：無線効率の向上など

5Gコアネットワーク：URLLCやmMTCのサポート、機能拡張など

3GPP Release 17 【2021年9月標準化予定】

更なる機能拡張に向けた案件を2020年12月に決定予定

エッジコンピューティングの拡充

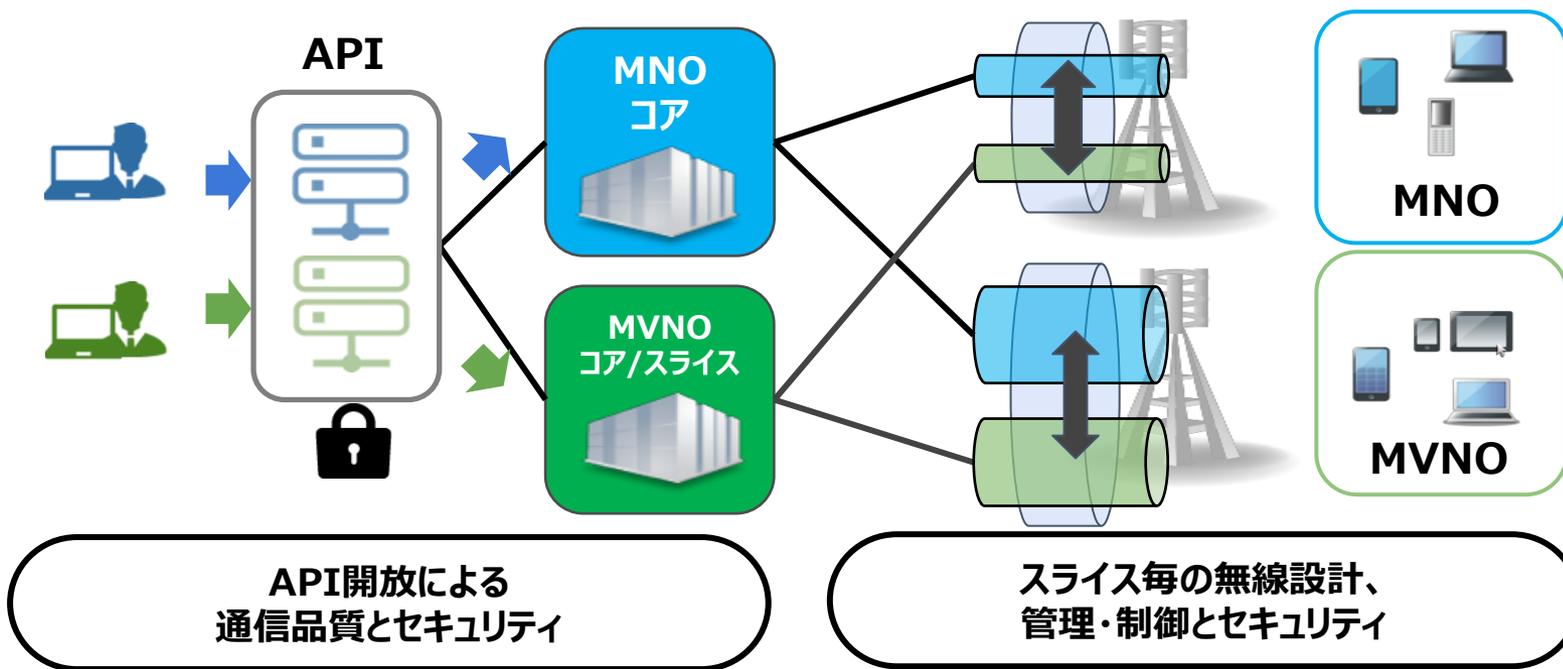
ノンパブリックネットワークの拡充

NWスライシングの拡充 等

1. 5G (SA 方式)の状況について
- 2. MVNO向けの機能開放について**
3. 機能開放について、MVNO との協議状況
4. 5G (SA 方式) における公正競争ルールについて

機能開放・提供までのスケジュール

技術的制約や課題が想定し得るため、
MVNO殿の具体的な要望を伺った上で、標準化動向なども踏まえ、
当社としての提供可能な機能、形態やスケジュールを検討



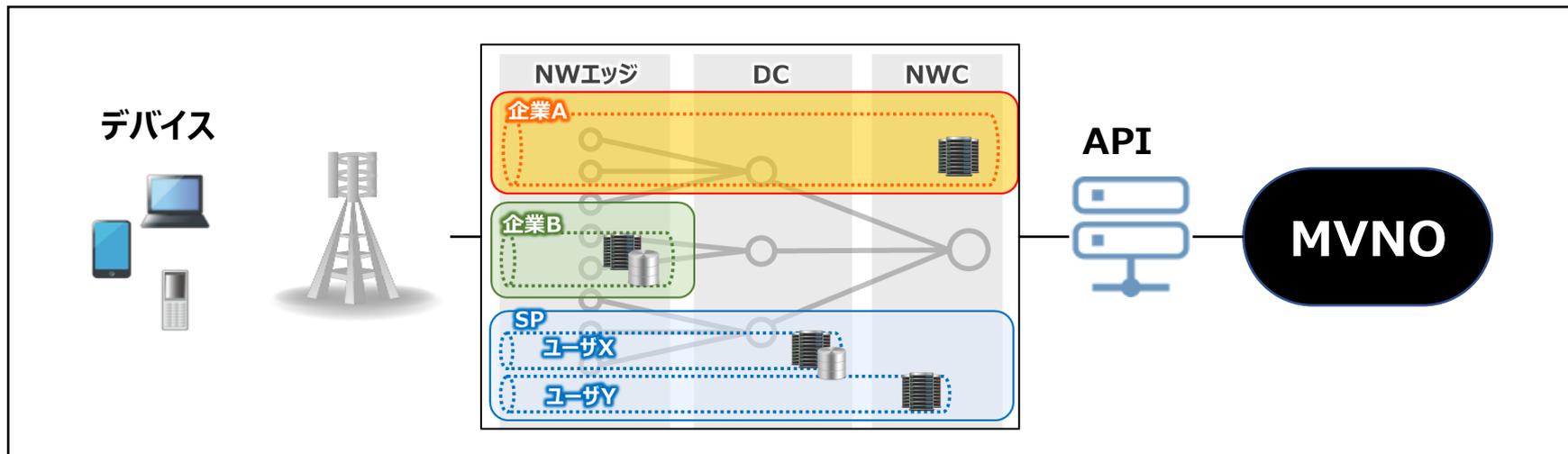
- 外部にネットワーク機能を開放することによる通信品質の低下及びセキュリティリスク増を懸念

- 無線容量設計や提供するSLAなどに基づくアドミッション管理・制御を適切に行うことが困難
- 通信障害やサービス品質の低下等のリスク、セキュリティリスク等、他の接続形態と比較し様々な重大なリスクを生じる懸念

1. 5G (SA 方式)の状況について
2. MVNO向けの機能開放について
- 3. 機能開放について、MVNO との協議状況**
4. 5G (SA 方式) における公正競争ルールについて

MVNOとの協議状況

現時点においてMVNO殿からの問い合わせや個別協議の実績はなし
具体的なサービスイメージなどの要望があれば、標準化動向なども
踏まえ、提供可能な機能、形態や範囲等の協議に応じる考え



また、5Gサービス導入時のように、提供条件等をHPに公表するなど、
適宜MVNO殿への情報提供を行うことも検討

1. 5G (SA 方式)の状況について
2. MVNO向けの機能開放について
3. 機能開放について、MVNO との協議状況
4. **5G (SA 方式) における公正競争ルールについて**

1

仮想ネットワークやスライシング技術等により、個々のニーズに応じた柔軟なサービスであり、ビジネスベース（卸）での提供が基本

2

サービス黎明期におけるイノベーションやMNOの設備投資インセンティブを損なわないことが重要

3

標準化動向、技術的課題・制約やベンダーの機能実装なども踏まえ、過剰な規制にならないように留意



上記に十分配慮したルール整理が必要

(例：指定電気通信設備制度、卸電気通信役務の在り方の見直し等)